

朝倉由夢誕生日記念 2

由夢&音姫love ♪

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

第1話の内輪での誕生日会とは反対の盛大なお祝いバージョンです

目次

朝倉由夢誕生日記念2

1

朝倉由夢誕生日記念2

本日1月2日は我が愛妻由夢の誕生日である。

小原鞠莉が主催する由夢のバースデー会場に居る。

「鞠莉さん、このように盛大なバースデー会を主催してくれてありがとう！」

鞠莉「oh!とてもシャイニーな日ですもの!盛大にお祝いしないとネ♪」

ダイヤ「ルビィの殿方である義信さんの伴侶である方のお誕生日ですから、これくらいは当たり前ですわよね、鞠莉さん？」

鞠莉「勿論デース!今日は楽しみましょう!」

由夢「鞠莉さん、ダイヤさん、本当に盛大にお祝いして頂いて恐縮です。本当に嬉しいです…」

果南「鞠莉、自分の誕生日くらいに弾けてるね…」

という訳でバースデー会場はホテルオハラの大催事場にて開催される。

司会「それではこれより由夢さんのバースデー会を開催致します。」

会場の机にはバイキング形式での食事が用意されている。

千歌「うわあ〜っ、凄い料理がいっぱい♪」

曜「千歌ちゃん、何を食べるでありますか？」

千歌「やつぱりお肉お肉♪」

梨子「やつぱり千歌ちゃんは食いしん坊だね。」

善子「フフツ、私の墮天使の涙もあるわよ…リトルデーモン達、酔いしれなさい！」

花丸「やめるぞら♪」

ルビィ「あれ凄く辛いんだよね…由夢さんには食べさせられないな…」

純一「おつ？これはなんだ？」

音夢「なんか凄い料理ですね兄さん。」

純一「お前の料理と遜色ないな…」

音夢「ナンデスカニイサン？」

純一「いやなんでも…(おお、久し振りの裏音夢発動させかけた…危ない)」

注：純一さんと会話している音夢さんは、我が愛妻音夢とは別人です。

D・C・ことり「これ凄く美味しい…シヤイ煮って言うの？」

ことり「凄い食材が見えるんだけど…アワビ？」

穂乃果「これいくらでも食べられるよ！」

海末「穂乃果！このあとライブもあるんですからあまり食べ過ぎないようにしてくださいね！」

穂乃果「もう！分かってるよ海未ちゃん！でも美味しい♪」
と参列者の面々は堪能しているようです。

「ダイヤ姉さん。」

ダイヤ「義信さん、ご機嫌いかがですか？」

「今日は本当にありがとう、鞠莉さんを始め姉さんや果南さんも、そしてAqoursのみんなも」

ダイヤ「ルビィを幸せにしてくれてる貴方の伴侶である由夢さんのお誕生日ですから当たり前ですわ。ルビィ、泣かされる事があつたら言いなさいね？」

ルビィ「お姉ちゃん、泣かされる事があるのは夜の時だけ…」

「ルビィ！それはダメ！」

ルビィ「ピギィ!？」

ダイヤ「義信さん？破廉恥なのは！

ぶつぶつ、ですわっ!!」

和気あいあいとしたバースデー会も終盤。

なんと！μ'sとAqoursのライブが行われるのだ！

これは俺もワクワクしている。

μ'sは「スノハレ」

A q o u r s は「青空 J u m p i n g H e a r t」

そしてラストはバースデー会主役の由夢の一言

由夢「今日は鞠莉さんによる私の誕生日会を開いてくださり、本当にありがとうございます、本当にありがとうございました。」

参加してくれた皆さんも楽しめましたか？」

一同「勿論デース！」

由夢「最高の思い出になりました、これからも義信さん達と一緒に頑張って行きますので、どうぞよろしくお願いします。」

今日はありがとうございました！」

こうして由夢のお誕生日会は終わりを迎える…

「由夢、誕生日おめでとう、本当に良かったな！」

由夢「本当に幸せです…こんなにも…」

「これからもずっと一緒に居ような由夢、愛してるよ。」

由夢「義信さん…私も愛しています…」

そして二人はキスを交わす。

音姫「由夢ちゃん、お誕生日おめでとう！これからも義信さん達と共に、幸せに過ごしていきましょうね！」

由夢「お姉ちゃん…うん!!!」

「音姫もこっちにおいで…」

そして俺は両サイドに音姫と由夢を引き寄せ抱き締める。

空を見上げると、満月がキラキラと輝いていた。

これからもこの幸せを噛み締めながら、愛妻達との結婚生活を続けていくぞ!!!

朝倉由夢誕生日記念

完